

復興

美しい飯館村を
取り戻す
ために

農業者等と農業委員
との意見交換会についてご
紹介します

除染後の農地利用は？ 飯館村の

農業を考える

農業者と農業委員 意見交換会

1/18

農業者の意見・提案等の
一部をご紹介します。

飯館村農業委員会では「農業者と農業委員意見交換会」を「いやしの宿いいたて」で開催しました。村農業委員会は、村の農業の現状と目指す姿について、委員会独自でワークショップを行っています。さらに農業者と意見を交わすことで、具体的な営農再開や土地利用・保全への方策に活かしたいと考えています。意見交換会で上がった意見・提案等については、今後、農業者が「概ね5年後の農業」をイメージできるようにするため、農業委員会で、さらに協議・検討を進めていきます。



避難前はブルーベリー等を栽培。今は新潟県に避難して近隣の果樹木を請負管理している。村に戻れたら、またブルーベリーを栽培してみたい。村が汚染されていることを認めた上で、ドーム栽培等の消費者体験拠点も考えられるのではないかと。

齋藤 力さん
(小宮) 営農再開者



震災前は、飯館ファームという会社名だったが、震災後に名称変更した。これからの話し合いは、「戻ったら何ができるのか」だと思う。後ろ向きでない話を積み重ねることが必要だと思う。

谷 宣春さん
大空ファーム
(八木沢・芦原)



相馬市に農地を借りて営農している。除染後で、農地を1,000Bq/kg以下にすること、何から作り始めるか重要。避難の3年間で失われているのはやる気、前に進む気持ち。植物工場を作るのも必要ではないかと。

會田 征男さん
(伊丹沢) 営農再開者



相馬市で、畑を借りてジャガイモ、オクラを栽培中。除染した後、口に入らない作物として、バイオ燃料作物の栽培に可能性があるのではないかと。

渡邊 春治さん
福相農園 (小宮)
認定農業者



震災前から福島市できゅうりを栽培していた。震災後、風評被害できゅうりを何トンも捨てた。何とか生計はたてている。

村では、一次産業はあきらめた方がよいのかとも思う。花卉をモデルとしてやっていくべきではないかと。畜産も牧草も当面無理と思うが、輸入飼料での飼養は有り得る。

こういった、意見交換会は必要だし、2か月に1回の割合くらいで継続してほしい。農業の先輩方の意見も聞かせてほしい。

長谷川 芳博さん
(伊丹沢) 認定農業者



村内農地除染は、全域剥ぎ取り式。徹底除染することで、何年か経てば「村の産物は安全」というイメージになる可能性がある。農業にかかわらず、農地を面として利活用、維持していくことが重要だと思う。

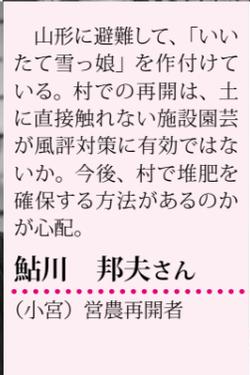
山田 猛史さん
(関根・松塚) 村農業委員



赤石澤 忠則さん
(上飯樋) 認定農業者

国の交付金等を活用して福島市内でトルコギキョウを栽培中。

農業者として、安全・安心の担保のない中で食べ物を栽培し経済活動をしていいのかと、震災以降ずっと思っている。

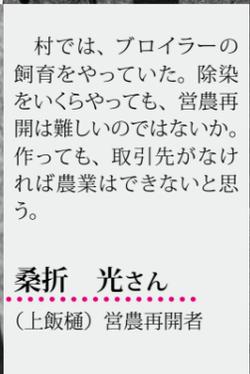


鮎川 邦夫さん
(小宮) 営農再開者



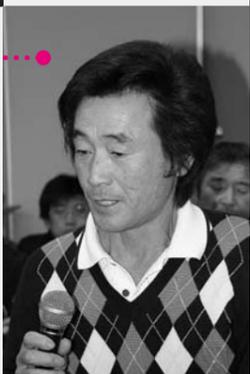
飯館村を壊すことなく、一日も早く除染が終わることだけが今の望み。

三坂 勲さん
(白石) 営農再開者



村では、プロイラーの飼育をやっていた。除染をいくらやっても、営農再開は難しいのではないかと。作っても、取引先がなければ農業はできないと思う。

桑折 光さん
(上飯樋) 営農再開者



佐藤 隆男さん
(飯樋町) 認定農業者

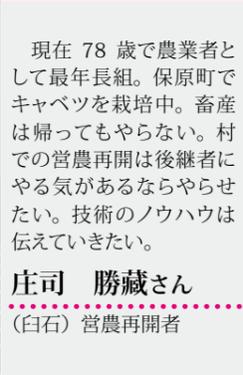
被災前は、畜産で肥育600頭、繁殖40頭飼育していた。除染後に牧草の線量が基準値以下になっていれば、すぐにも帰って再開したい。

菅野 浩さん

(関根・松塚) 認定農業者

米を作ってもしょうがない、という声もあるが、自分で食べるための米は作りたい人はかなりいると思う。地域の特異性として、高原野菜や花卉をやってきたが、これからは口に入るものでなく、花卉が主になるのではないかと。

今後は、担い手後継者に視点を持った支援が必要だと思う。

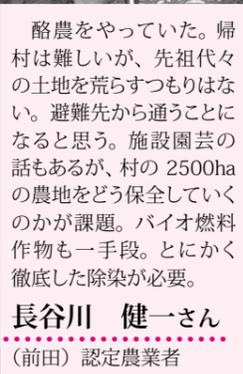


庄司 勝蔵さん
(白石) 営農再開者



今は、村見守り隊をやっている。子どもは、県外に避難しているし、農業は、もう3年やっていないので無理かと思っている。営農再開は、線量の低い地区に施設等を作ってやる方がよいと思う。

北山 梅子さん
(飯樋町) 認定農業者



酪農をやっていた。帰村は難しいが、先祖代々の土地を荒らすつもりはない。避難先から通うことになると思う。施設園芸の話もあるが、村の2500haの農地をどう保全していくのが課題。バイオ燃料作物も一手段。とにかく徹底した除染が必要。

長谷川 健一さん
(前田) 認定農業者



高野 靖夫・光子さん
(前田・八和木) 認定農業者

村内で3年間、国・県のもと米の試験栽培をしてきた。作った米は大丈夫だが、村の人すら知らない、と言われる以上、外に売ることではできない。できれば、営農再開したいが、村での農業は自分の代で終わりだと思っている。



菅野 隆幸さん
(関根・松塚) 営農再開者



鳴原 清三さん
(長泥) 営農再開者

福島市内で花卉栽培している。息子が花卉栽培をやってみたくて言っている。長泥でできなくても村内で農地を貸してくれば通っても営農再開したい。若い人に技術を伝えて観光農園を目指すのもひとつの手。



平成24年から福島市、川俣町で行者ニンニクを作っている。先は見えないが、お互いががんばりましょう。